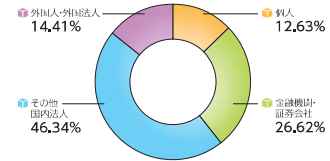


株式の状況 (2013年3月31日現在)

発行済株式総数…109,663,524株 (1株元の株式数100株)

株主数……………12,515名

所有者別株式分布状況



大株主

| 株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|--|----------|----------|
| 大日本印刷株式会社 | 20,727 | 18.90 |
| 三井物産株式会社 | 9,798 | 8.93 |
| 日本トラスティサービス信託銀行株式会社 (信託口) | 7,974 | 7.27 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) | 5,544 | 5.05 |
| 農林中央金庫 | 4,653 | 4.24 |
| 日本ユニシス従業員持株会 | 3,221 | 2.93 |
| 全日本空輸株式会社 | 1,794 | 1.63 |
| MSP CLIENT SECURITIES | 1,513 | 1.37 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・三菱電機株式会社口) | 1,271 | 1.15 |
| 日本トラスティサービス信託銀行株式会社 (信託口9) | 1,198 | 1.09 |

(注)上記以外、当社(自己株式15,671,093株(持株比率14.29%))を保有しております。

株主メモ

| | |
|-----------|--|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 定額株主総会 | 毎年6月 |
| 基準日 | 定額株主総会および期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告いたします。 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 送付先住所 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 電話お問い合わせ先 | 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(土日祝日を除く) |
| 発行株式数 | 100株 |
| 公告方法 | 電子公告 (http://www.unisys.co.jp/cm/notification) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載を行います。 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 市場第一部 (証券コード:8056) |

※2013年6月27日付で、株主名簿管理人をみずほ信託銀行から三井住友信託銀行に変更いたしました。

- 証券会社に口座を開設されている株主様が、ご住所等の変更や元元未納株式の引当その他の各種お手続きを希望される場合は、口座をお持ちの証券会社にお申し出ください。
- 特別口座で管理されている株式についての各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行にお申し出ください。

| | |
|---------------|--|
| 特別口座管理機関 | みずほ信託銀行株式会社 |
| 送付先住所 | 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 電話お問い合わせ先 | 0120-288-324 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(土日祝日を除く) |
| 特別口座に関する事務取扱所 | みずほ信託銀行 全国各支店 みずほ証券 全国本支店 |



Forest Stewardship Council® 森林管理協議会の基準に基づいた環境にやさしい森林からの材料を安心に利用しています。



環境にやさしい大豆由来の植物性タンパク質を安心に利用しています。

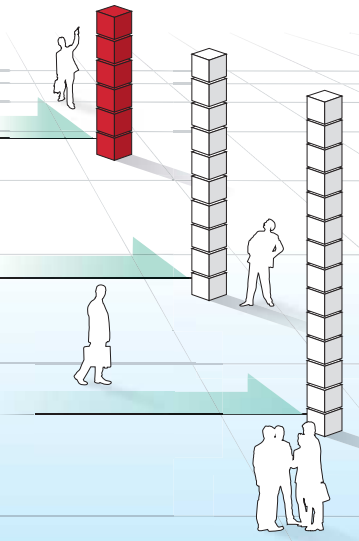


環境にやさしい植物性インクを安心に利用しています。

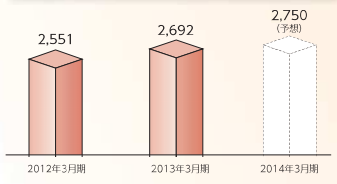
UNISYS 第69期 報告書

日本ユニシス株式会社 株主通信

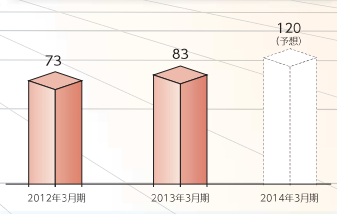
2012年4月1日~2013年3月31日



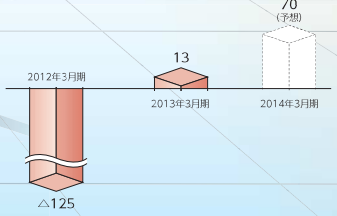
売上高 (億円)



営業利益 (億円)



当期純利益 (億円)



トップメッセージ

中期経営計画(2012→2014)の確実な達成に向けて、グループ一丸となって取り組んでおります。

ごあいさつ

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

2013年3月期の事業環境は、世界景気の減速を背景として低調な状況が続いたものの、期末にかけては国内景気回復の兆しから、IT投資需要にも緩やかな持ち直しの動きがみられます。

このような環境のなか、当期は中期経営計画の初年度となるため、「コアビジネス拡大」「新ビジネスへの挑戦」のほか、「経営基盤の強化」に全力で取り組んだ結果、売上高及び利益は前期実績を上回ることができました。特に課題でありましたトップラインの回復に対しては期待を上回る成果につながったと考えております。

中期経営計画の2年目となる2014年3月期は、成長戦略の推進に加え、2012年8月の大日本印刷株式会社との業務提携効果を着実にあげていくことで、売上高は中期経営計画を上回る2,750億円まで伸ばし、営業利益については120億円を目指します。

また、中期経営計画において「社会基盤ビジネスを通して社会に貢献する」ことを謳っておりますが、時代やビジネス環境が変化していく中で、当社も変わっていく必要があるということにより明確化するため、このたび企業理念の見直しを行いました。(※)

今後も事業を通じて社会に貢献することで、持続的に成長し続ける企業を目指して邁進してまいります。株主の皆様には未永くご支援賜りますよう、宜しく申し上げます。

(※企業理念は中に記載しております)

2013年6月



代表取締役社長 和田 尚志

2013年3月期 連結決算のポイント

業績のポイント

企業の設備投資は、業況判断の改善とともに、緩やかな持ち直しの動きをみせているものの、情報サービス市場における投資は概ね横ばいとなる中、売上高は2,692億円(前期比5.5%増)となりました。販売費及び一般管理費の圧縮に努めた結果、営業利益は83億円(同13.7%増)となりました。当期純利益は、投資有価証券評価損42億円を特別損失として計上したこと等により13億円(前期は125億円の損失)となりました。キャッシュ・フローについては、営業活動によるキャッシュ・フローが売上高の増加により前期比で+50億円増加したこと、フリー・キャッシュ・フローは70億円の収入(前期比42億円増)となりました。

業績の推移 (百万円)

| | 2012年3月期 | 2013年3月期 |
|------------|-----------|-----------|
| 売上高 | 2,551,122 | 2,691,170 |
| 売上総利益 | 63,561 | 63,545 |
| 販売費及び一般管理費 | 56,251 | 55,234 |
| 営業利益 | 7,310 | 8,311 |
| 経常利益 | 7,096 | 8,315 |
| 当期純利益 | △12,498 | 1,250 |

財務の推移 (百万円)

| | 2012年3月期末 | 2013年3月期末 |
|---------|-----------|-----------|
| 流動資産 | 114,869 | 124,037 |
| 固定資産 | 75,213 | 73,742 |
| 資産合計 | 190,083 | 197,779 |
| 流動負債 | 81,710 | 76,657 |
| 固定負債 | 45,150 | 53,205 |
| 負債合計 | 126,860 | 129,863 |
| 純資産合計 | 63,223 | 67,916 |
| 負債純資産合計 | 190,083 | 197,779 |

キャッシュ・フローの推移 (百万円)

| | 2012年3月期 | 2013年3月期 |
|------------------|----------|----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 13,430 | 18,447 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 10,641 | △ 11,442 |
| フリー・キャッシュ・フロー | 2,788 | 7,004 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 5,947 | △ 8,985 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 27,254 | 25,274 |

財務のポイント

総資産は売掛金および未収入金の増加等により前期末比7億7千円増加の1,978億円となりました。負債は、買掛金および未払費用の増加等により、30億円増加の1,299億円となりました。純資産は679億円となり、自己資本比率は、33.6%となりました。

2014年3月期 業績予想

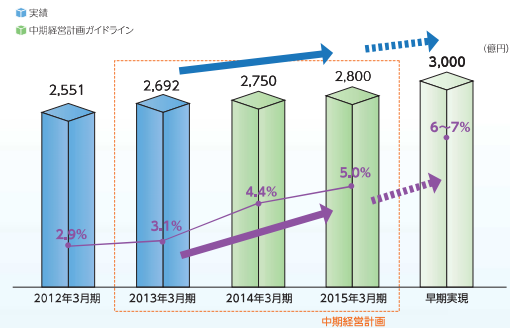
2014年3月期の売上高は、2,750億円を計画しています。利益面については、営業利益120億円、当期純利益70億円をそれぞれ計画しています。

株主通信トピックス

中期経営計画(2012→2014)に向けた進捗

2013年3月期の売上高・営業利益は、前期を上回る結果となりました。2014年3月期以降も、計画を確実に達成することで、早期に売上高3,000億円を目指します。

売上高と営業利益率



コアビジネスの拡大としては、インフラ更改の着実な推進により、インフラビジネスが伸長しました。課題であったリスクマネジメントは、従来型の事業に比べてリスク範囲が拡大していることもあり、リスク管理体制をさらに強化しております。新ビジネスでは、社会基盤事業である「さどひまわりネット」やエネルギー・マネジメントシステムに取り組んだほか、「ギフトカードモール事業」[Smartaxi]などの新事業の拡大により、早期にトップラインの成長を図ってまいります。

トピックス

ICTの貢献 ～わたしたちが目指すこと～

地域の医療課題解決に向けた「さどひまわりネット」がスタート

新潟県の佐渡島では、島民の高齢化が進む一方で、医師や看護師不足により医療レベルを維持することが、大きな課題となっていました。この解決に向けた100を超える医療・福祉関連施設との連携を目指した「さどひまわりネット」を構築。日本ユニシスは、佐渡島の医療品質の維持に貢献するとともに、将来はこのシステムを日本の地域医療連携ネットワークのデファクトスタンダードへと進化させ、他の地域の医療課題解決にも貢献していきたいと考えています。



業界初。タクシー配車システム「smartaxi」の新サービス、乗客向けスマートフォンアプリ提供開始

「smartaxi」は、タクシー配車の仕組みをスマートフォンとクラウドサービスを利用して実現するシステムです。この「smartaxi」と、乗客向けスマートフォンアプリを組み合わせることで、乗客の配車リクエストからタクシー市街への配車指示までの完全自動化をクラウドサービスで実現。これは、業界初となります。その結果、タクシー事業者は、配車リクエストが集中する時間帯でも、コールセンターの要員を増やすことなく、スムーズな配車を行うことができ、乗客は、通話ができない場所からでも配車依頼ができるだけでなく、混み合う時間帯の話し中といったストレスからも開放されるというメリットがあります。なお、「smartaxi」は、「Tablet Solution Award 2012」において、グランプリに選出されております。



※「Tablet Solution Award 2012」はインフラビジネスメディア主催の企業ユーザー向けAndroid向けタブレットソリューションコンテストです。

日本ユニシスグループ 企業理念

わたしたちが社会に果たすべきこと

すべての人たちとともに、
人と環境にやさしい
社会づくりに貢献します

わたしたちが目指すこと

社会の期待と要請に対する感性を磨き、
そのためにICTが貢献できることを
考え抜く集団になります

わたしたちが大切にすること

1. 高品質・高技術の追求
社会に役立つ最新の知識を有するとともに、技能を高めます
2. 個人の尊重とチームワークの重視
相手の良い点を見いだし、それを伸ばすことを奨励し合い、
互いの強みを活かします
3. 社会・お客様・株主・社員にとり魅力ある会社
ステークホルダーの声に真摯に耳を傾け、
企業価値向上に努めます

UD FONT

日本ユニシス株式会社

本社 / 〒135-8560
東京都江東区豊洲1-1-1
電話: 03-5546-4111 (大代表)

ユニバーサルデザインは、障がい者や高齢者のために、誰もが使いやすいデザインを追求し、誰もが安心して利用できる製品を開発しています。